

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	5-3-1	事業名	大通交流拠点再整備構想検討事業				
担当	市民まちづくり局企画部都心まちづくり推進室都心まちづくり課 為久 Tel:211-2692						
全体計画							
事業内容	札幌駅前通と大通の交差部は「都心まちづくり計画」において、「大通交流拠点」として、骨格軸と連動して面的な広がりでもちづくりを展開すべき地区として位置づけられており、人びとの多様な交流を支援し、都心内の中心性を象徴的に表現する「サッポロ広場」の形成が求められている。 現在整備を進めている「札幌駅前通地下歩行空間」との連携はもちろんのこと、都心の新たな魅力づくりに向けた空間構成、多様な交流支援機能の確保や地上・地下の空間的連続性の確保など、「サッポロ広場」の形成に向け、関係地権者と連携を図りながら整備検討を進める。			<年度別の事業内容>			
				[19年度]: 広場形成に向けた現状把握と課題整理 (導入機能・空間利用・通行者処理など) 札幌駅前通公共地下歩道との連携 民間開発計画との調整・支援 [20年度]: 広場空間の整備目標設定 (機能移転・導入機能・空間構成など) 民間開発計画との調整・支援 [21年度]: 整備計画案検討及び作成、整備手法の検討 [22年度]: 整備実施計画作成			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	広場形成に向け、庁内関係部局及び民間地権者と共に、現状把握と課題について、検討を進めた。 具体的には、広場の意味・形状・機能・歩行者対策など、今後の方向性について協議を重ね、札幌駅前通公共地下歩道とのスムーズな接続や民間開発計画と調整を図りながら、整備目標の具体的検討をするための準備を進めた。			広場空間の整備目標の設定に向け、現状把握と整理した課題を基に今後の方向性について関係者との間で共通認識を築く。具体的には、広場内での歩行者導線計画や求められる機能の整理など、現状における課題把握と整理を行う。また、札幌駅前通公共地下歩行空間や地下鉄札幌駅との連続性確保のための手法などの検討を進める。			
達成目標の状況							
項 目		18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (予 定)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
サッポロ広場形成計画の策定		検討	検討	検討	検討	策定	策定
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加 企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] 広場空間と民間施設との接続部は、公益・公共性を考えた開発の必要がある。大通交流拠点に接続される民間開発計画を調整・支援することで、公共的空間確保や空間的連続性などが期待できる。 市民・企業等が参加しやすい環境づくり							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	5-3-1		事業名	大通交流拠点再整備構想検討事業		
評価(成果)			課題			
<p>都心の中心性を象徴的に表現する「サッポロ広場」の整備の意義や重要性について、関係者内で共通認識を持つことができた。それを踏まえ、民間地権者において、広場空間整備に伴う施設開発計画において、空間接続部への公益・公共性の確保を含めた整備構想の検討が進んだ。</p>			<p>国際都市にふさわしい拠点として、市民や札幌を訪れる人々の多面的な交流を支援、都心の中心性を象徴する広場を実現するには、行政単独の事業展開では困難であり、官民が都心の将来像を共有し、共通認識の基、取組まなくてはならない。 そのためには、民間開発計画などへの積極的な調整・支援を通し、空間形成における公益・公共性の必要性を認識してもらう。その上で、機能移転・導入機能・空間構成など公共整備と民間開発を連携させながら、具体的な検討を進めなければならない。</p>			
今後の事業の予定・方向						
<p>大通交流拠点は、札幌駅方面へのネットワーク、また、すすきの方面へのネットワーク形成の中心的空間としての重要なポイントとして位置づけられ、歩行者空間ネットワークの核となる、非常に重要な拠点として位置付けられる。 今後は、札幌駅前通地下歩行空間整備や札幌駅交流拠点整備など、空間の連続性を認識し、人の滞留を可能にする都心部の総合的な公共的空間形成に向けた整備の視点を持ち、利便性・機能性・デザイン性に優れた、より高質な空間の実現を目指していく。</p>						
事業費の推移						
	項目	19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	0	0	6,000	4,000	10,000
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0	3,000	2,000	5,000
	市債	0	0	0	0	0
	その他一般財源	0	0	3,000	2,000	5,000
予算	事業費	0	0	-	-	0
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0			0
	市債	0	0			0
	その他一般財源	0	0			0
実績	事業費	0	-	-	-	0
	財源内訳					
	国・道支出金	0				0
	市債	0				0
	その他一般財源	0				0
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				0.0%
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
[19年度]						
[20年度]						